

教育情報コーナーからのお知らせ 1月

**新年あけまして、おめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。**

午年(馬)から未年(羊)へ、干支も変わり今年はどんな一年になるのでしょうか。
おだやかで良い一年だといいですね。
恒例、今年の干支『羊』から、世界にあるヒツジの「ことわざ」をご紹介します。
お正月の話題にいかがでしょう。

<シベリアのことわざ>

羊を盗んだ人だけでなく、羊小屋を教えた人にも、罪がある
(犯罪を誘発するような行為をいませめたもの。)

<チベットのことわざ>

羊の行くところは草原、野鴨の行くところは湖
(人それぞれ自分にあった場所がある。)

<ルーマニアのことわざ>

羊の毛を刈りなさい、が、皮まで剥いてはいけない
(欲をだして皮まで剥ぐと、もう毛はとれない。)

<マケドニアのことわざ>

羊八匹に犬九匹、羊番は十二人
(小さいのに役人ばかり多い国を皮肉って言う。)

<セルビアのことわざ>

よい羊は多くは鳴かぬが、多くの羊毛を与える
(「不言実行」「多弁能なし」に通じる。)

<スペイン・カタロニア語のことわざ>

**羊飼いの五つの教え：第一は鍋からスープを飲み、
第二は自分の羊の群が全世界で、
第三は最良の子羊を食べ、
第四はあきるほど朝食が食べられ、
第五は何もしないでぼっと一日が過ごせる**

(羊飼いは最もスペインらしい産業で、スペイン民俗の底にはいつも羊飼いの心が存在する。このことわざは羊飼いの無欲な、しかし素朴で他人に気をつかう必要のない生活をたたえている。)

<ギリシャのことわざ>

羊とともに眠りにつき、ひばりとともに目を覚ませ
(自然に沿った規則正しい生活をするのが肝心。「早起きは三文の徳」に通ず。)

<南アフリカのことわざ>

羊の頭でも、一つより二つのほうがいい
(何か決めるには、一人で考えるより、二人のほうがいい。)

<中南米・スリナムのことわざ>

知りたがり屋の羊は虎の餌食
(あまり不必要なことに首を突っ込むものではない。)

